

水道事業会計[水道課 所管]

1. 概要

令和4年度の業務の状況は、給水人口 44,657 人、給水量は前年度に比べ 1.0%増の 5,251,810 m³を供給し、1 日最大給水量は 16,505 m³、1 日平均給水量は 14,389 m³であった。

事業収益総額は 1,224,049,384 円で、うち給水収益が前年度比 0.01%減の 1,020,905,340 円となり、事業費総額は、前年度比 3.6%増の 1,083,657,424 円となった。

業務給水量については、給水量が前年度比 1.0%増であり岩井地域の中心市街地の快適給水のための配水管網整備による水圧改善の成果及び 1 人あたりの水道水使用量(原単位)の増加によるものである。しかしながら、有収水量は 0.7%減となり、有収率は前年度比 1.7%減の 87.9%であった。これは新設配水管と既設配水管及び給水管との接続の際の洗管水量及び排水量の増加や管路の老朽化等による漏水水量の増加によるものである。

給水戸数は 228 戸の増加であったが、給水人口は 599 人の減少となった。今後給水人口はさらに減少する見込みであり、安定的な給水のため、需要に応じた管網整備をさらに進めていかなければならない。

経常利益は、前年度比 20.3%減の 139,909,953 円となり、これに特別収支の 482,007 円を加えた当年度純利益は、前年度比 20.1%減の 140,391,960 円(前年度純利益 175,624,397 円)となった。

また、資本的収入額が資本的支出額に不足する額 360,538,103 円は、過年度分損益勘定留保資金 360,538,103 円で補てんした。

建設改良事業については、市街地の既存消火栓の老朽化に伴い 10 基の更新工事を行った。また、今後の濁水及び水質管理対策として、配水管・配水小管内の排水のための排泥弁及び仕切弁を 76 基設置した。

配水管・配水小管整備については、市街地を中心に道路改良工事等に伴い、延長 2,973.3mの配水管・配水小管の布設工事を行った。

令和4年度末現在の住民基本台帳人口 52,439 人に対する水道普及率は、85.2%で前年度より 0.8 ポイント減少した。

なお、今後の水道事業については、人口減少による事業収入の減少や老朽化水道施設の更新に伴う支出増が見込まれるなかで、水道事業の経営改善(コストの縮減と収入の確保)が必要不可欠である。

※概要内の金額は、全て税抜となっています。

2. 収益の収入及び支出

(収 入)

(単位:円・税込)

区 分	決 算 額
第1款 水道事業収益	1,334,970,085
第1項 営業収益	1,184,213,364
第2項 営業外収益	150,274,714
第3項 特別利益	482,007

(支 出)

(単位:円・税込)

区 分	決 算 額
第1款 水道事業費	1,184,387,743
第1項 営業費用	1,098,639,922
第2項 営業外費用	85,747,821
第3項 予備費	0

3. 資本の収入及び支出

(収 入)

(単位:円・税込)

区 分	決 算 額
第1款 資本の収入	6,100,000
第1項 企業債	0
第2項 国庫補助金	0
第3項 工事負担金	0
第4項 負担金	6,100,000

(支 出)

(単位:円・税込)

区 分	決 算 額
第1款 資本の支出	366,638,103
第1項 建設改良費	139,239,289
第2項 企業債償還金	227,398,814
第3項 予備費	0

4. 業務の状況

事 項		令和4年度	令和3年度	比 較	
				増 減	増減率
年度末	給水人口	44,657 人	45,256 人	△ 599 人	△ 1.3%
〃	給水戸数	18,222 戸	17,994 戸	228 戸	1.3%
年 間	給水量	5,251,810 m ³	5,197,247 m ³	54,563 m ³	1.0%
〃	一日平均給水量	14,389 m ³	14,239 m ³	150 m ³	1.1%
〃	有収水量	4,615,593 m ³	4,648,666 m ³	△ 33,073 m ³	△ 0.7%
〃	一日平均有収水量	12,645 m ³	12,736 m ³	△ 91 m ³	△ 0.7%
〃	有収率	87.9%	89.4%	△ 1.5%	△ 1.7%